

泣きを入れたか 運転科 それで良いですね と確認しよう

古い話で恐縮ですが

年休が流れるまでの期間はあと2ヶ月半ほどです。ところで昨年のお話ですが、12月15日付けの分会情報「とうにうん」で年休を絶対に流さない東海労の改善の取り組みと、以下のような、12月7日の業務委員会の一部を紹介しました。

『しかし耳を疑うような朗報もあります。時季変更について7日の交渉で幹鉄事は「現行どおり社員があらためて他の日に年休の時季指定を行うこととする」と回答しました。これは年休が入らない時はあらためて時季指定すれば年休が入るという意味であり、絶対に年休が取れるということです。それで良いですね、と運転科に確かめて時季指定しましょう』、と。

ところが後日、幹鉄事から新幹線地本に「東海労は回答を勘違いしていませんか？」と連絡がありました。幹鉄事が言いたかったのは、あらためて時季指定しても年休は入りませんよ、運転科には聞きに行かないようにということのようでした。

皆さんはどう思いますか？ どうしますか？

これまでは掲示内容に問題があれば、理由も言わずに撤去通告してきました。しかし今回は撤去通告がありません。だから、東海労が受け止めているように、あらためて時季指定すれば年休が取れるということです。わたしたちはそれで良いですね、と運転科に確かめに行くことにしています。

しかし、運転科はそれでは困る、と幹鉄事に泣きを入れたのではないかと思います。東海労組合員が運転科に年休が入らない理由を聞きに行くと、もう来ないで、と言われます。運転科には多分、順番が悪いことや要員が居ないことが原因で年休が入らないことの原因はないと思います。

そうは言っても、実際に年休が入らないことや、間もなく流れてしまうのが現状です。あきらめています、などと言わず、実力行使あるのみです。運転科に聞きに行きましょう。

東海労組合員には、改善の取り組みの成果が出始めています